

子宮頸がんワクチン接種をご検討されている方へ

定期接種（公費負担）…………… ガーダシル（4価）のみ

対象：小学校6年生から高校1年生の女子（16歳になる年度の3月まで）



任意接種（自費負担）

対象：9歳以上の**男子・男性**…………… ガーダシル（4価）

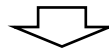
高校2年生以上の女子～45歳までの女性 …… ガーダシル（4価）または シルガード9（9価）

小学校6年生から高校1年生の女子 …… シルガード9（9価）

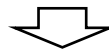


受診の流れ

当院地域連携室（0980-52-2719）にお電話いただき、「子宮頸がんワクチン外来」をご予約ください。
紹介状は不要です。



予約日 担当医よりワクチンの種類、効果、副作用、費用などについて説明があります。
説明を聞いた上で接種をご希望される場合はワクチン接種の予約を取ります。



接種当日 産婦人科外来にて問診票の記入をお願いします。接種後次回接種の予約をします。

費用	・ 予診料 ……………	2,880 円	} 10%の消費税が別にかかります。
	・ ワクチン代 {		
	・ ガーダシル（4価） ……	11,188 円	
	・ シルガード9（9価） ……	19,800 円	
	・ 手技料 ……………	350 円	

接種スケジュール 同じワクチンを合計3回、半年間かけて接種します。



※3 1回目から1か月以上あけます。
※4 2回目から3か月以上あけます。

注意 ～ ご注意ください ～

※定期接種の方は予診料、ワクチン代、手技料が**公費負担**になります。

※定期接種（**公費負担**）の方は、1回目のワクチンを高校1年生の9月までに打つ必要があります。

※子宮頸がんワクチン外来では、ワクチン接種以外の診察、検査、処方を行うことはできません。

※ワクチン接種後30分間は院内で経過観察が必要です。お時間に余裕を持ってお越しください。

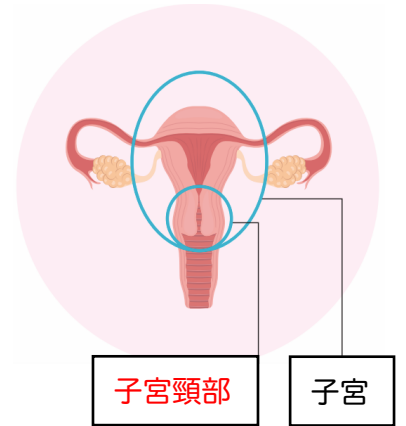
※ワクチン接種後の局所の痛み、腫れ、などは多くの場合一時的な症状です。症状が持続する場合は、産婦人科外来を受診していただきます。その際は保険診療となり、定期接種の方でも自己負担があります。

あなたと関係のあるがんがあります



大切なお知らせです。ワクチンで**救える命**があります。

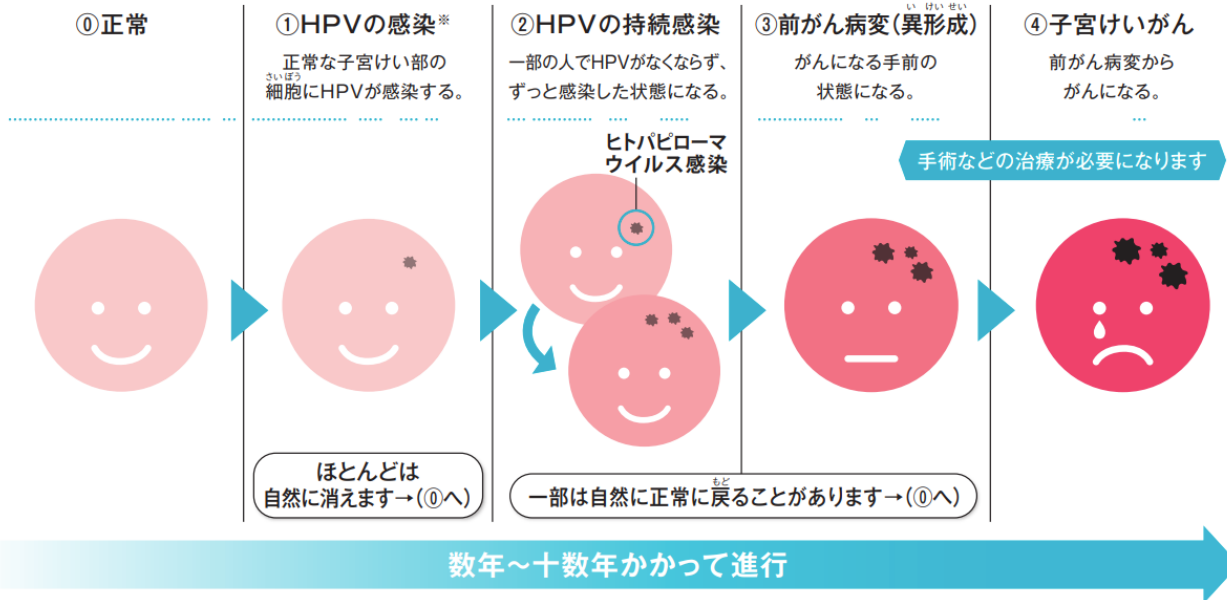
- ・子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。
- ・子宮頸がんは、若い世代の女性のがんの中で多くを占めるがんです。
- ・日本では毎年、約 11,000 人の女性がかかる病気で、さらに毎年、約 2,800 人の女性が亡くなっています。
- ・患者さんは 20 歳代から増え始めて、30 歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう（妊娠できなくなってしまう）人も、毎年約 1,200 人います。



< 子宮頸がんにかかる仕組み >

- ・1982 年、ドイツのハラルド・ツァ・ハウゼン氏により、子宮頸がんのほとんどがヒトパピローマウイルス (HPV) というウイルスの感染が原因であることが発見されました。
- ・HPV には 200 種類以上のタイプ (遺伝子型) があり、子宮頸がんの原因となるタイプが少なくとも 15 種類あることが分かっています。
- ・HPV に感染しても、すぐにがんになるわけではなく、いくつかの段階があります。

< 子宮けいがんの進行 >



※HPV感染は、主に性的接触によって起こります。一生のうちに何度も起こりえます。

< 子宮頸がんの治療 >

- ・子宮頸がんは、早期に発見し手術等の治療を受ければ、多くの場合命を落とさず治すことができます。
- ・進んだ前がん病変 (異形成) や子宮頸がんの段階で見つかり、手術が必要になります。
- ・病状によって手術の方法は異なりますが、子宮の一部を切り取ることで、妊娠したときに、**早産のリスクが高まったり、子宮を失うことで妊娠できなくなったりすることがあります。**